

関係自治体による取組施策実施内容の報告

目 次

名古屋地方気象台	2
半田市	3
常滑市	4
知多市	5
阿久比町	6
南知多町	7
美浜町	8
武豊町	11

○名古屋地方気象台による取組施策実施内容

■気象防災ワークショップの実施



気象防災ワークショップの様子(グループ討議や討議内容の発表)

- ・実施場所：名古屋大学減災館
- ・実施日：5月23日
- ・参加者：県・市町村防災担当者



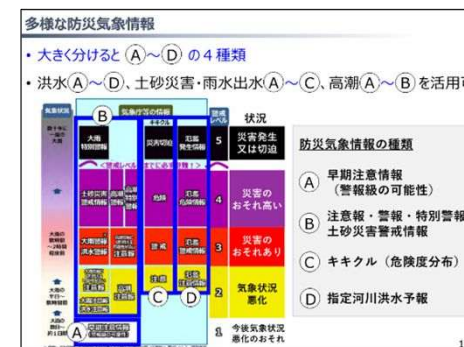
県及び市町村の防災担当者と気象防災ワークショップを実施。

■要配慮者利用施設向けの講習の実施



講演会の様子(イメージ図)

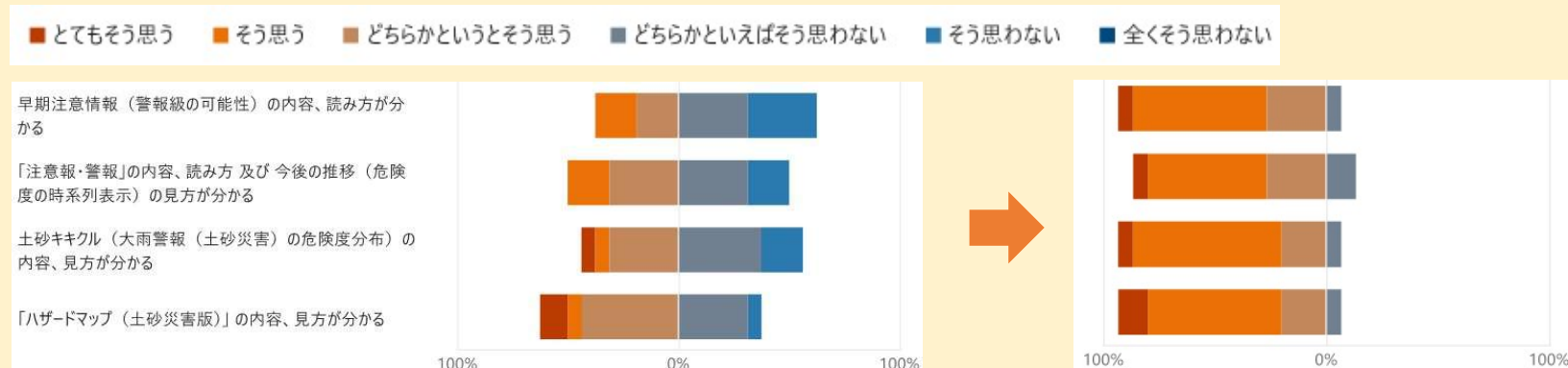
- ・実施場所：碧南市役所
- ・実施日：1月29日(予定)
- ・参加者：介護事業所職員



講演スライド(例)

水害訓練の参加者を対象に、警戒レベルや防災気象情報の活用方法を解説。

【気象防災ワークショップ(土砂災害編)実施後のアンケート結果】



①気象防災ワークショップを通じて、自治体職員の防災気象情報の理解・活用及び避難情報発令などに関する検討することで、防災対応力の向上が図られた。

②要配慮者利用施設に従事する職員の防災気象情報及びその活用方法への理解促進が図られた。

○市町村による取組施策実施内容＜半田市＞

■防災講座



総合防災訓練での防災講座の様子

■避難訓練



避難所受付の様子

- ・実施場所：亀崎中学校（体育館）
- ・実施日：令和6年12月1日
- ・参加者：中学生、亀崎自主防災会、日本福祉大学学生、住民等

総合防災訓練で避難訓練を実施しました。また、避難訓練参加者に能登半島地震や災害用トイレの実験、ペット避難についての防災講座を行い、防災意識の向上を図りました。

○市町村による取組施策実施内容＜常滑市＞

■消防団員(水防団員)増加の取り組み

- ・市が主催するイベントへの参加、消防団フェスタの開催等、加入促進活動を年間通して行っています。
- ・消防団の入団説明会を行っています。
- ・市内の協力事業所に消防団員募集のポスターの貼り付けをお願いしています。
- ・消防団員による直接勧誘(声掛け)を行っています。
- ・消防団員確保のための文書を区長等へ送付しました。

■土のう作成訓練・土のう設置



土のう作成の様子

- ・実施場所:常滑消防本部
- ・参加者:消防、市



土のう積工法の実施

作成した土のうは有事の際に活用できるように保管した。

○市町村による取組施策実施内容＜知多市＞

日付：令和6年11月10日（日）

場所：旭東小学校

概要：知多市総合防災訓練内の訓練項目の
1つとして土嚢作成を実施した

人数：400人（市職員等含む）



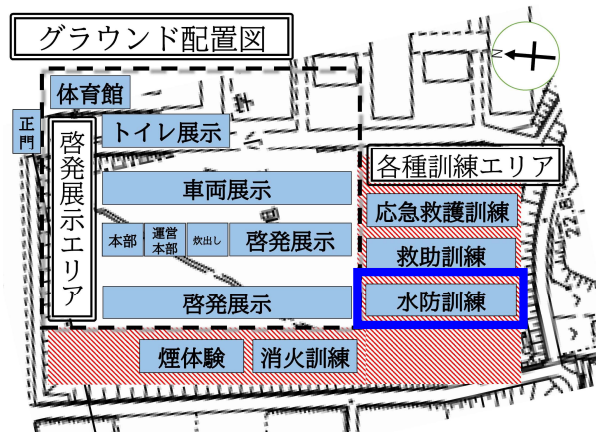
知多市総合
防災訓練
参加自由

問い合わせ
→市役所
防災危機管理課
Tel 0562-36-2638

日時 令和6年11月10日
地震発生 8:20～
避難所設営訓練 9:25～
啓発展示 9:30～

場所 旭東小学校
住所 知多市大興寺字広目 10
一般駐車場 東小山グラウンド
※旭東小まで徒歩 500m

みどころ
・警察、消防、自衛隊の特殊車両が集合！写真OKです！
・体育館で避難所設営資機材の組立訓練ができます！
・啓発コーナースタンプラリーでスタンプを集めて粗品と交換できます！



総合防災訓練終了・講評

防災訓練のチラシ

○市町村による取組施策実施内容＜阿久比町＞

■新規採用職員を対象とした 水防訓練



- ・実施場所：阿久比町防災倉庫前
- ・実施日：令和6年5月29日・30日
- ・参加者：令和6年度新規採用職員

今年度新規に採用した職員を対象に、水防工法の基本である土のう作成及び土のう積みの訓練を実施することで、町職員としての風水害への備えと心構えを養いました。

訓練指導として半田消防署阿久比支署の署員に協力してもらい、正しい土のうの作成方法と災害時を想定した土のうの積み方を学びました。

また、あわせて町の防災倉庫にある備蓄品の確認も行いました。

■各地区自主防災会出前講座



- ①令和6年 5月26日 高根台地区
- ②令和6年 7月28日 横松地区
- ③令和6年11月 3日 白沢台地区
- ④令和6年11月10日 棕岡地区
- ⑤令和6年11月24日 メイツ巽ヶ丘地区
- ⑥令和6年12月15日 宮津団地地区
- ⑦令和7年 2月 2日 陽なたの丘地区

「いのちを守る」防災出前講座と題し、希望する自主防災会に町の防災担当職員が伺い、町防災マップの紹介、自主防災会の役割などについて説明しました。

今年度は7地区からの要望があり、各地区特有のハザードや地区での心配な箇所、避難所の開設・運営などについて情報交換を行いました。

来年度も引き続き複数地区での開催を目指し、地区の防災意識向上、顔の見える関係づくりを図っていきます。

○市町村による取組施策実施内容＜南知多町＞

■樋門操作定期訓練



訓練時の様子

- 実施樋門等数 樋門 20基
陸閘 80基
角落し 7基
- 実施回数 各樋門 年6回(2カ月に1回)
- 参加者 町職員、消防団員

町職員及び消防団員で各地区にある樋門・陸閘等の操作訓練を定期的に行っています。

■要配慮者利用施設の避難確保計画策定
計画策定依頼、説明を各施設の所管課から行っている。
普段から関わりのある職員が説明をすることで、施設と所管課の連携の強化を図るとともに、所管課の防災意識向上にも繋がっている。

＜スケジュール等＞

R5.12 防災交通課から施設所管課へ、新たに高潮の避難確保計画を策定する必要がある施設一覧の提出を依頼。

R6.4 防災交通課が施設所管課に対して、高潮の避難確保計画策定に向けた説明会を開催。

R6.5 所管課から高潮の避難確保計画を策定する必要がある施設へ依頼、説明。

＜策定状況＞

R7.3 全11施設策定完了。

○市町村による取組施策実施内容＜美浜町＞

■NTTドコモとの美浜町災害協定

・【背景】

能登半島地震からの教訓により、輸送経路の崩壊により半島先端の復旧活動が困難となった。

・【地理的要件】

災害道路である知多半島道路のICに近く、三河湾(豊田市)、伊勢湾(名古屋港、四日市重工業地帯)の両面に面した美浜町が災害拠点として最適。

・【協定内容】

美浜町→NTTドコモ:災害拠点場所、復旧資機材保管場所の提供

NTTドコモ→美浜町:各避難所携帯電話充電器の無償貸与



無償貸与されたマルチチャージャー

令和6年度
NTTドコモ東海G総合防災訓練

メイン会場:名古屋市戸田緑地公園
拠点会場 :美浜町

○市町村による取組施策実施内容＜美浜町＞

■地元建設業者との勉強会（大規模災害時における道路啓開および河川等巡視について）、国と県との情報交換会

- 【背景】

防災課との合同勉強会において、大規模災害時における道路啓開に係る被害情報収集の具体的な方法が未策定であることが判明。

- 【道路啓開に関するマニュアルの策定】

建設業者、建設課、防災課の担当で道路啓開に関するマニュアルを策定。

2回目の勉強会において、災害発生初期における巡察に関するマニュアルを策定し、地元建設業者との連携を図った。道路啓開時に河川等も巡視を盛り込む。

- 【連携の強化】

国（名古屋国道事務所）と県担当を交え、災害時における道路計画に対する情報交換を実施。

- 【今後の動き】

7年度中に訓練を行い、マニュアルの有効性を確認する。

地元建設業者との勉強会



名古屋国道事務所、知多建設事務所との情報交換会



○市町村による取組施策実施内容＜美浜町＞

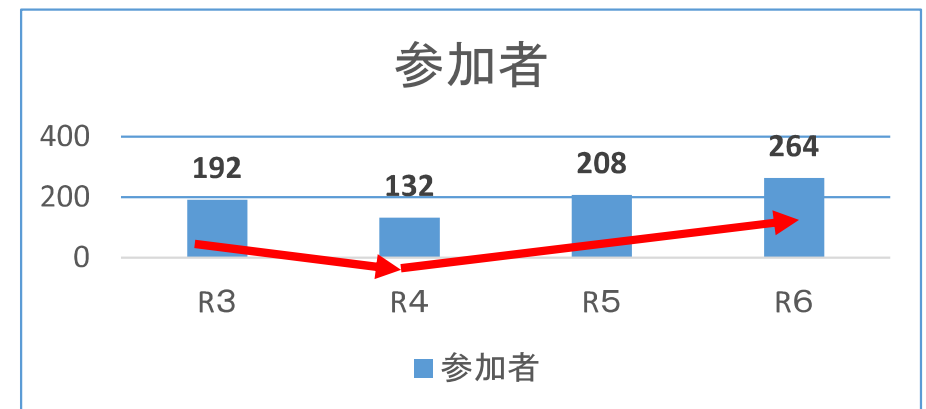
■地域住民との連携

- 【避難所運営訓練】
自主防災組織、役場職員、教職員の三者による避難所運営訓練を実施、自主防災会等が主体となる避難所運営の確立を図った。
- 【防災リーダーの育成】
みんなの減災カレッジを企画、地域の自主防災組織からの推薦を受けた22名を防災リーダー（共助）として育成



避難所運営訓練

みんなの減災カレッジ2024 修了式



○市町村による取組施策実施内容＜武豊町＞

■武豊町のりものフェスタ 消防武豊支署ブース

イベント実施内容

消防団・水防団勧誘のチラシ配布

消防団・水防団勧誘のビデオ配信

放水体験

屈折はしご車乗車体験

防火衣等着用体験

啓発グッズの配布

日時 11月17日(日) 9:00～
武豊町 消防武豊支署



イベント実施の効果

- ・多くの住民が来場し、武豊町の消防団・水防団について知ってもらう機会となった。
- ・子供が体験できるブースが多く、若い世代に消防団・水防団をアピールすることができた。

今後のスケジュールについて

今後のスケジュールについて

今回開催

【令和7年5月28日】第12回水防災協議会

- ・出水期前の体制確認について
- ・取組方針のフォローアップについて

令和7年度水防災協議会（4圏域合同）連絡調整会議

- ・第1回：令和7年11月頃予定※
- ・第2回：令和8年1月頃予定※
- ※必要に応じて開催

取組方針のフォローアップ調査

【令和8年3月頃予定】第12回水防災協議会幹事会

【令和8年5月頃予定】第13回水防災協議会

ケーブルテレビ会社と協働した河川防災情報の発信

ケーブルテレビ会社と協働した河川防災情報の発信

○平時からの住民等への情報伝達を強化するため、地域に密着するケーブルテレビが持つ既存コンテンツを活用した防災情報の発信に取り組むことにより、適切な避難行動の促進を図る。

【概要】

- ・住民等に対し、わかりやすい洪水情報の提供のため、地元ケーブルテレビ（スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社）と協働し、水防災に関する情報提供の動画を作成した。
- ・従来とは異なる媒体での情報提供であり、防災に関心の薄い層へのアプローチが期待される。

【制作会社名】

- ・スターキャット株式会社

【協働内容】

- ・シナリオ作成、写真等提供、職員出演

【媒体（公開日）】

- ・テレビ放送（令和6年10月24日～）
- ・YouTubeチャンネル（令和6年10月26日～）

【放送エリア】

- ・名古屋市（緑区、守山区除く）、江南市、岩倉市、北名古屋市、清須市の一部

【今後の予定】

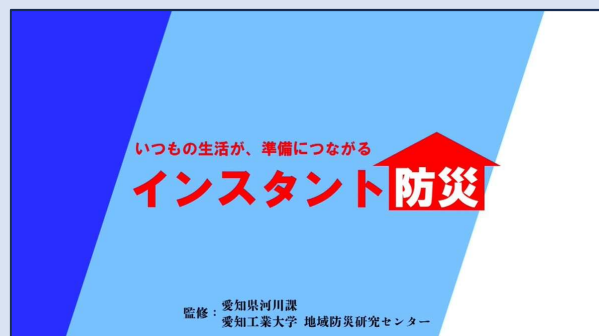
- ・出前講座など防災教育への活用、河川課ウェブサイトへの掲載 等
- ・引き続き、水防災の取り組みについて制作を予定



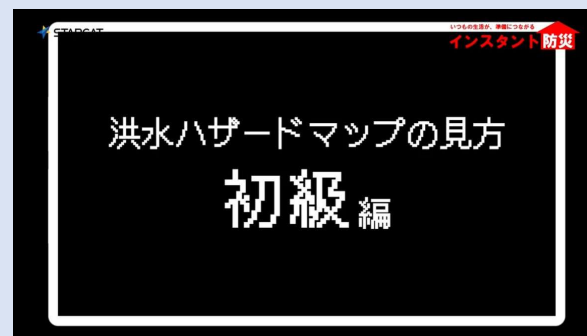
YouTube「インスタント防災」



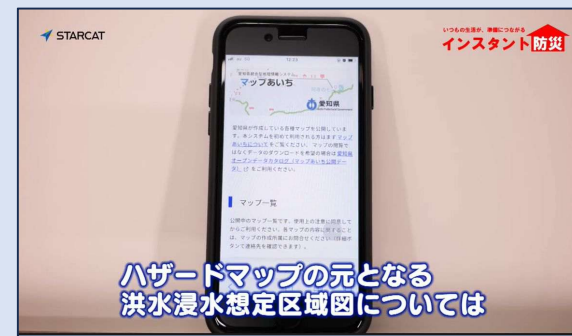
河川課職員が出演



番組タイトル



初回のテーマは「ハザードマップの見方 初級編」



「マップあいち」の紹介